

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	武雄北中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は、県より学力向上研究の指定を受け研究に取り組み発表を行い一定の成果を上げた。今後は、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業の組み立て方についてまだまだ実践を重ねていく。 ・昨年度、取り組んだ家庭学習の内容や方法について見直しを図り、「810大作戦」を継続し、学習習慣の定着を目指す。そして、集団での学び合い(授業)と個の自学力(家庭学習)をしっかりとリンクさせる。 ・昨年度は、各種行事においてお互いが認め合い支え合う人間関係づくりに力を入れた。今後も生徒会を中心に様々なイベントを企画させ主体的・協働的風土を醸成し、心身ともに健康な生徒の育成を図る。
2 学校教育目標	「自ら学びを求める人」「志をもちゆめ実現を目指す人」「心身ともに健康な人」
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考え判断し、決定し自ら行動する資質の育成 ・たくましく生きぬくための心身の健康と体力の増進

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・学力向上対策シートマイプランでの各自の取り組み内容を共有し、振り返りを定期的に行う。	B	・校内研でグループごとにマイプランでの取り組みを発表し内容を共有した。各教師が成果指標の達成に向け、授業の中で実践している。	C	・授業の中で「話し合い活動」を多く取り入れることをマイプランで実践する予定であったが、感染防止の為にほとんどできなかった。 ・しかし、授業の流れの提示や振り返りはほとんどの教師が出来ており共通実践はできた。	B	・コロナ禍で実践が難しい中、先生方が共通の意識をもてたことはすばらしい。 ・生徒自身が考えて発表する学習で意欲の向上を。 ・親の望みは何より学力向上である。タブレットを活用し楽しく学習する取り組みに力を入れてほしい。
	○家庭学習の定着を目指した分かりやすい授業の実践	○810大作戦が実施できたと回答した生徒60%以上	・授業と課題をリンクさせ、基礎基本の定着を図る。 ・810運動が充実したものになるように発展的な学習課題にも取り組ませる。	B	・数学・理科では、長期休業や臨時休校でも生徒が学習に取り組みめるよう、スタディサプリに取り組んだ。 ・810大作戦は60パーセント以上の生徒がほぼ達成していると回答している。継続して取り組むための手立てをとっていきたい。	B	・県学習状況調査の結果から、県平均を上回る教科が多かったことより、基礎基本の定着は、ほぼ達成している。 ・810大作戦は71.2%の生徒が自主的に実践できたと回答しており家庭学習が定着しつつあるが、個別の支援が必要な生徒もいる。	A	・数値目標を達成できている。更なる目標達成を。 ・810運動を充実させたことが、県平均を上回る結果に結びついたと思う。すばらしい。 ・先生方の指導と生徒の努力の賜物である。個別支援については、先生方の負担が増えない形でできればと思う。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした生徒70%以上	・道徳教育の充実のために道徳の授業の質の向上に努める。 ・楽しい道徳の授業づくりについて、職員研修を行う(年1回以上) ・人権集会や平和集会などに生徒会を中心に取り組ませ、主体的に考える場を設ける。	B	・道徳の職員研修がまだできていないので、後期に行いたい。 ・道徳に関するアンケートを実施し、肯定的な回答はどの学年も70%を上回った。領域別では、2年生の自己肯定感が低いので、今後の活動で意識をして取り組みたい。 ・平和集会は生徒会中心に実施できた。	B	・道徳の職員研修(評価等)ができないままだった。今年度中に実施できればと思う。 ・道徳に関するアンケートを年2回実施した。肯定的な回答は70%を上回り、さらに2回目は80%以上になった。自己肯定感を高める指導を継続して行いたい。 ・人権集会は12月実施、3.11集会も計画中。	B	・学力も大事だが、道徳教育はもっと力を入れてほしいことである。子どもは褒められることで心も育ち、学校生活が楽しくなり、それが学力にもつながる。 ・生徒の目標は達成しているため、先生方の研修をもっと早い時期に計画的に実施したらよかった。 ・道徳の研修は必須であると思う。もの考え方、個での考え方が近年変化しているため計画実施を。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていますと回答した教員80%以上	・生徒指導協議会であった生徒についての教育相談と連携しsc、sswや支援員を有効活用し生徒が安心できる生活環境を作る。 ・生徒指導から出ている生活アンケートで様子を把握し、いじめの早期発見に繋げる。	B	・生徒指導協議会であった生徒について教育相談と連携しsc、sswや支援員を有効活用し生徒が安心できる生活環境を作る。 ・生活アンケートで月ごとに様子を把握し、各学年、あるいは全職員で対応できている。今後も日々のノートや教育相談や生徒の様子観察で小さな変化に気づき、早期発見、早期対応に繋げてたい。	B	・気になる生徒について、生徒指導協議会で共有し、教育相談、SC、SSW、支援員と連携をもち、個に応じた対応をすすめている。 ・生活アンケートで月ごとに様子を把握し、各学年、あるいは全職員で対応できている。今後も日々のノートや教育相談や生徒の様子観察で小さな変化に気づき、早期発見、早期対応に繋げてたい。	B	・いじめについての話は聞いたりしていない。今後も情報共有を図ってよい環境をつくってもらいたい。 ・先生と生徒の日常的関係を良好に保つことが必要だと思う。早期発見につながる信頼関係を保ち続けるようお願いしたい。 ・いじめの防止、早期対応はとても大切。学校全体で取り扱う問題だと思う。
●健康・体づくり	◎生徒が志をもち、夢や目標の実現に向けて自分で考え判断し、自ら行動するための教育活動	◎「将来の夢や目標をもっている」について肯定的な回答をした生徒70%以上	・進路学習や行事を通して目標をもちそれを認め合い、支援できる学校の雰囲気作りを図る。 ・総合的な学習の時間(夢タイム)を通して、地域の方と共に活動する場を設け、チャレンジしやすい学習環境を整える。 ・なりたい自分を明確にできるように、行事や生活で目標を立て活動する習慣をつけさせる。	A	・年度当初のアンケートで「将来の夢や目標をもっている」について肯定的な回答をした生徒は各学年70%を超えていた。今後も目標をもって活動に取り組ませ、振り返りで成長を実感させていきたい。 ・総合的な学習(夢タイム)では、コロナ感染症の影響で計画通りの実施が難しいが、適宜対応を考えながらできる範囲での活動が行っている。	A	・年度末のアンケートで「将来の夢や目標」に関して肯定的な回答は全体で70%を超えていた。また、「夢実現のための行動」について肯定的な回答をした生徒も70%を超えていた。将来を考え、努力する事ができている。 ・(夢タイム)ではアンケートで意欲的に取り組んでいる生徒は75%を超え、実施が難しい中「地域・社会貢献」を考えたい活動ができた。	A	・学校新聞の「夢川柳」(十年後の自分)、とてもよかった。 ・数値目標は達成されている。更なる目標達成を。 ・近所の中学生はよく挨拶ができている。家庭・学校・地域のつながりを大切に地域の子どもは地域で育てたい。 ・生徒の町内行事への積極的な参加をお願いしたい。将来もこの町に住み続ける学習もお願いしたい。
	●「運動習慣の改善や定着化」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の生徒80%以上	・自分の足で登校するように指導する。 ・部活動開始を帰りの会終了後10分以内にスタートできるように全職員でサポートする。	A	・自分の足で登校する生徒がほとんどであるが、雨天時になるとそうでない場合が多い。昼休みを利用した運動を行うイベントを開催し、1週間で420分以上運動を行う生徒が90%を超えるために一躍躍りしている現状である。部活動には1分でも早く取り組めるよう各学級で協力している。 ・食育教室を開催し、早寝早起き朝ご飯の大切さを訴えると同時に生活リズムチェック表をつけさせ、意識を高めることをしている。現況は朝食摂取率は90%以上である。	A	・中間評価と変わらず、雨天時の送迎は決まった家庭であるが、ほとんどの生徒は雨天時でも雨具を着て登校している。昼休みのイベントが終了したあとでも運動場を利用して運動する姿が見られた。部活動へ送り出すための各学級の協力は変わらずできた。 ・定期的な給食週間での取り組みや生活リズムチェック表の継続も行ってきていたため生徒の意識向上が見られた。朝食摂取率は95%を超える状況がほとんどである。	A	・朝食をしっかり食べている子どもが多いのはとても嬉しい。まずは、しっかり食べて体をつくること、学力や心の教育など全てにつながると思う。 ・朝食摂取率90%以上は素晴らしい成果だと思う。 ・朝食摂取率は100%にしないと、勉強の集中力がつかないと思う。 ・引き続きご指導をお願いしたい。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒90%以上	・食に関する専門的な知識や日ごろの生活で役立つことを、年間計画をもとに栄養教諭と連携して指導する。 ・朝食摂取率90%以上を目指した食育の指導を行う。	A	・食に関する専門的な知識や日ごろの生活で役立つことを、年間計画をもとに栄養教諭と連携して指導する。 ・朝食摂取率90%以上を目指した食育の指導を行う。	A	・朝食摂取率は90%以上である。	A	・十分に睡眠をとって、ゆとりある生活習慣を身に付けることが必要。 ・挨拶はよくできていると思う。
	○望ましい生活習慣の形成	○生活面全てで部活動時と同じ意識で生活する「24時間部活動」ができていると回答した生徒80%以上	・各部活動ごとに長期目標・短期目標を設定し、個人目標も同じように設定する。個人にはプラスして生活習慣にかかわる行動目標をひとつ立てさせる。	C	・短期目標達成のための活動にプレが生じるが多々あり、日々の生活態度を改めさせる必要があると感じている。	B	・「24時間部活動」ができていると回答した生徒は80%を超えており、生徒自身は達成感をもっている。しかし、朝の登校などにゆとりがなかったり、機敏な行動やあいさつも今ひとつ感じたりする。今一つ進化させたい。	B	・平日の部活動の時間が短くなったこともあり、ほとんどの職員の間外在時間時間が短くなった。上限も遵守できている。 ・職員個々の様子や変化に細やかに気づいて声かけをする雰囲気が出来上がっている。
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
○学校経営・教育活動	○「夢プロジェクト」の推進	○「自分たちの手で夢プロジェクトを企画・実行し、成功させた」と回答した生徒70%以上	・自ら気づき・考え・行動するを常に意識する。小さなことも生徒会で情報交換し、できることから実践することで、達成感を味わう機会を増やす。	C	・新たな企画を考えはするものの、企画をスタートさせることに教師の力を借りてしまいがちであるため、まだまだ自分たちでやり遂げた実感がわかない現状である。	B	・生徒達でできることを考え、試行錯誤しながら行うことができた。コロナの影響で十分ではない部分もあったが、生徒たちは達成感を十分に味わっていた。	A	・コロナ禍でも工夫され生徒達に達成感を与えられたことは評価したい。 ・「夢プロジェクト」は素晴らしい。続けていきたい。
5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ・コロナ禍で生徒同士の対話活動を手段とした学習活動を組むことが難しく、当初計画していた学びの深まりを実現することはできなかった。次年度は「主体的・対話的で深い学び」を、タブレットやリモートでの学習形態においても実現できるような工夫をして実現させていきたい。 ・本年度は多くの行事が縮小や中止となり、生徒が主体となって企画・運営をする活動が大幅に減ってしまった。しかし限られた中で少ないながらもいくつかの行事を試行錯誤しながら実施し、達成感や自信を感じていた。「夢タイム」の活動も制限の中で工夫し実施したことで意欲的に活動できていた。次年度は、まだ限られた状況が予想されるが、また生徒に工夫をさせながら地域とともにある学習活動を展開させたい。 								